

バス停タイムス

2018年12月27日

No.46

発行者

杉澤秀則

編集者

教宣部

JR東海労働組合新幹線地方本部

働きやすい職場をつくるために！

SMTと団体交渉開催

私たちは12月20日、SMT（新幹線メンテナンス東海株式会社）と団体交渉を開催しました。

10月からの作業体制見直しは作業者のためか？

10月からの作業体制見直しについてSMTは、『清掃品質の維持向上を求めると共に、作業の効率化および省力化をはかり、作業者の負担軽減につながる』と回答しました。しかし、作業者の実感は、“きつくなった、大変だ”というもので、会社の認識とは大きくかけはなれていると主張しました。

年休が入りにくいことと、休みたいところに年休が入らないという状況が続いています。SMTも、『要員確保が大変であり新人の定着率が低いことを問題と考えている、先輩方が新人達へ声かけをして、フォローをお願いしたい』と回答しました。組合からは、皆勤手当の改善や魅力ある労働条件が不可欠であることを強く訴えました。

座席センサーが過敏な反応をすることについて改善を要求しました。SMTは『この原因の一つは埃によるもので定期的な手入れが必要だが、共用品ではなかなか出来ないことから、不良品は交換する』と回答しました。また、業務研究などで研究中だと明らかにしました。



現場諸問題について鋭く追及する石尾団交員

J R 東海労掲示板設置へ！

日勤事業所では、遅出勤務を解消し、昨年3月以前の体制に戻す事を強く主張しました。SMTからは、遅番の勤務時間が、来年3月から10時45分～19時30分と10時45分～19時45分に変更されることが明らかにされました。多少は早く終業するという事です。また、日勤の休憩時間のバラツキについてSMTは、『どうしようもない、作業員には事前に伝えている、改善することは理想でしかない』と、努力を放棄する回答に終始しました。これに対して強く抗議しました。

三島事業所々長によるパワハラ発言について謝罪を求めましたが、SMTは『パワハラに関する事実はないので謝罪しない』としらをきりました。ところが事実を突きつけると一転し、「知ってる中での話でありパワハラではない」と発言の事実を認め、所長を指導した事を明らかにしました。私たちは今後もチェックしていきます

三島事業所における設備の改善についても、安全通路の照明や足場の不具合の修繕要求については、修繕手配をしたことがあきらかにされました。

東京トラベルサポート事業所の鍛冶橋事務所に、J R 東海労の組合掲示板の設置を求めました。これに対してSMTから、『設置基準を満たす組合員5名以上と確認できれば、設置可能な場所があるかを含めて検討する』と回答を得ました。

安全と健康を守り、働きやすい職場環境を目指して、一緒に声を上げましょう!!

連絡先(新幹線地本)	〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5 TEL03-3201-0350
ホームページアドレス	http://www.geocities.jp/jrcushinkansen2/right.html
メールアドレス	jrcushinkansen@yahoo.co.jp